

「おどる」に属する施策についての質問・回答

資料5-2

No.	施策	委員からの質問	市の回答	回答部署
7-1	都市ブランドの創出	LED・デジタルアートフェスティバルの県外客・国外客の割合が14.7%とされており、見学客・国外客にとっては魅力ある取組だったと考えられます。一方で市民にとって魅力あるものだったのでしょうか、また開催時期は適切だったのでしょうか。	とくしまLED・デジタルアートフェスティバル開催期間中に実施したアンケート結果によると、市民からは素晴らしい・楽しかったという意見や継続的な開催を希望する意見、作品に対して感想など肯定的な意見も多くありましたが、一方では、内容について子供が楽しめるものを増やして欲しい、前回のよう華やかさが欲しいなどの意見もありました。また、市民が観覧・参加できるイベント等では、定員のあるものでは、ほとんどが満員となっており、多くの参加がありました。開催時期については、寒かったという意見が多く、また、各会場間の距離が遠いので、会場を集約してはどうかという意見も多くありました。このような意見を踏まえ、「とくしまLED・デジタルアートフェスティバルタスクフォース」による検証を進めています。	経済政策課
7-2	計画的な都市づくりの推進	中心部の活気が低下しているという割合が増加していますが、いかがお考えでしょうか。	今回の市民満足度調査結果において、中心市街地が便利で活気にあふれていると感じる市民の割合が前年比3.6%低下したことについては、深刻に受け止めなければならないと考えています。 今後については、鉄道高架を踏えた「徳島駅周辺まちづくり計画」の深度化をはじめ、新町西地区の新たなまちづくり案の検討を進めるなど、中心市街地の活性化に向けた事業を推進する必要があると考えています。	都市政策課
		中心商店街の歩行者通行量の計測方法はどのように行っているのか教えていただきたい。	計測は「徳島市中心商店街通行量調査事業」で実施しており、計測方法については、10月中旬の金曜日及び日曜日を選定し、午前10時から午後7時の間、17ヶ所の調査地点における歩行者の人数を計測したものです。	都市政策課
		「川の駅」や「川の停留所」が整備されることで、人の流れを生むとされていますが、船で移動ができないため、移動を控えているという声や問題があるのでしょうか。	現時点ではそのような御意見は把握しておりませんが、本市の豊かな河川環境を観光だけではなく、移動手段として活用することで、中心部への「ひと・もの」の流れ、ひいてはまちのにぎわいづくりに繋げていきたいと考えております。	まちづくり推進課

No.	施策	委員からの質問	市の回答	回答部署
7-3	観光・交流の促進	「訪日外国人旅行者への対応」事業では、案内表示やパンフレットを多言語化するとされています。ただし、これらのツールは実際に観光客が来てから使用するものと考えますが、外国人観光客を誘致するための施策は具体的に何を実施しているのでしょうか。	今年度の新規事業として10月に台湾の著名なブロガー、カメラマン等を本市に招聘し、SNSなどを通じて本市の魅力的なコンテンツについての情報発信を行います。また来年1月には、台湾で本市の観光キャンペーンを実施します。	観光課
		訪日外国人旅行者の国ごとの人数はどのようになっているか教えていただきたい。	内閣府が運用している地域経済分析システムによると、2017年1月～3月期で徳島県を訪れた訪日外国人旅行者は、台湾4,799人、中国1,071人、米国784人の順となっています。本市を訪問する訪日外国人旅行客の国ごとの人数は把握していませんが、阿波おどり会館を訪れた国ごとの入込み数は次のとおりです。平成29年度（団体客）：台湾10,168人、香港2,919人、韓国500人、中国109人、米国337人、タイ13人、その他1,493人の合計15,539人です。（前年の合計は7,176人、対前年度117%増）	観光課
7-4	文化財の保存と活用	「保存活用体制を確立する」とは具体的にどのようなものか。	地域の文化財の保存と活用を推進するためには地域社会との連携が必要であることから、地域住民の文化財保護への参加の促進、文化財の公開・活用にあたりその価値を分かりやすく伝えることのできる人材の育成など、地域住民が主体となる持続可能な組織や体制を確立すること。	社会教育課
		「徳島市歴史文化～」事業について、平成30年までの行動計画が構想の検討とされ、平成31年の行動計画が構想の策定とされていますが、前倒しはできないのでしょうか。歴史文化基本構想策定委員会の開催状況と検討状況を教えてください。	歴史構想の検討については、平成29年度に委員会を2回開催、市民w sを2回実施している。平成30年度においても委員会2回の開催を予定している。委員会での検討内容については、歴史構想の軸となる本市の歴史文化を特徴づけるテーマとストーリーの設定および関連文化財群の抽出について検討している。市域には未調査の文化財も数多く存在することから、指定・未指定を含め文化財を総合的に把握し再評価することが必要であり、策定までの作業工程として3カ年を見込んでいる。	社会教育課
7-5	やさしい都市空間の整備	「パークアドプト～」事業の参加団体数は増加していますが、参加人数は増加しているのでしょうか。	事業に気楽に参加できるように5人からの団体で参加できる制度としており、毎年参加している団体の上に新規団体が加わっていることから団体数に比例して参加人数は増加している。	公園緑地課

No.	施策	委員からの質問	市の回答	回答部署
8-1	農林水産物の振興	新規就農経営力向上支援事業について、自立的な活動の支援とはどのようなものか。	農地管理機構を活用した農地の確保やグループの法人化などを支援する。	農林水産課
		「道の駅」について、検討内容を教えて欲しい。	これまでに、「道の駅」進め方検討有識者会議を3回（H29.10.30、H30.1.26、H30.5.22）開催し、農産物直売所やレストラン、産業振興ギャラリーなど、計画している地域振興施設の内容や採算性等について議論を行い、有識者会議としての報告書の作成に向けて検討を重ねている状況です。	農林水産課 観光課 経済政策課
		「とくしま食材～」事業において、埼玉県越谷市を拠点とするとあるが、アンテナショップなどがあるのでしょうか。宿泊付きアンテナショップとして日本初を謳っている、「Turn Table」と連携した方が効果があると考えますが、いかがでしょうか。	越谷市には、昨年5月にリニューアルオープンした観光物産拠点施設「ガーヤちゃんの蔵屋敷」があり、リニューアルオープン時から徳島市産特産品の常設販売を行っており、今後も「ガーヤちゃんの蔵屋敷」を首都圏での発信拠点の一つとして活用し、農林水産物のPRや特産品取り扱いの拡大等を図る。 「Turn Table」については、オープン前の内覧会に参加し、今後の徳島市産食材の取り扱い等について協議しており、徳島市産食材ブランド化の発信拠点の一つとして、今後連携の可能性も探っていきたいと考えている。	農林水産課
		スタンプラリーの開催方法の見直しに関しての、現時点で案を教えてください。	スタンプラリーの見直しについては次の4点を変更した。 ①スタンプ押印箇所における店舗のジャンル指定を廃止した。 ②スタンプを2個以上集めたら応募できるようになった。 ③抽選にはハガキでの応募が可能となった。 ④実施期間を延長した。（87日間から97日間に延長）	農林水産課

No.	施策	委員からの質問	市の回答	回答部署
8-2	地域産業の振興	海外販路の創出について、「契約に時間がかかる」とされていますが、契約に時間がかかる要因の分析、対応策の把握と、その支援メニューの立案は実施されているのでしょうか。また企業誘致のための具体策はあるのでしょうか。	一般的に、商談は短期間で結論に達することが少なく、数カ月やそれ以上の期間を要するものも多くあります。このため、年度の終わり頃に展示会に出展した事業者の中には、アンケート時点では商談が終了しておらず、契約に至ったかどうか具体的な回答を得ることができなかったものがありました。それはあくまでも補助事業者と相手事業者の個別の事情によるものです。本年度から実施する補助後のフォローアップとして事業所への訪問調査において、アンケート後の状況把握を進めたいと考えています。海外販路の拡大に対する支援メニューの一つである海外の認証取得については、各国の認証機関で事務処理期間は異なりますが、前述の訪問調査での状況把握を基に、支援メニューの改正を検討したいと考えています。企業誘致については、「徳島市企業立地促進条例」に基づき、工場、研究所、ベンチャー企業、情報通信関連事業所等の立地や本社機能移転を促進するため、固定資産税等の税の減免、雇用奨励金、賃料補助等の奨励措置を設けています。	経済政策課
8-3	商業・サービス業の振興	商店街においては、空き店舗が多いように思われるが、空き店舗改装の実績がないということは、補助メニューや条件が悪いのか、それとも、店舗を始めたという方が少ないのか、どちらなのでしょう。また本事業に係る予算は何に使用されているのでしょうか。	中心商店街活性化支援事業では、本事業は中心市街地の商店街の活性化につなげていくことを目的としているため、商店街振興組合などの地域商業団体が行う事業に対して支援を行っており、空き店舗改装支援についても個々の出店希望者からの申請ではなく、地域商業団体が出店希望者と協議した上で当該団体から申請を行っていることから、その実績は商店街への出店希望者の数を反映したものではありません。なお、本事業においては、空き店舗改装支援のほか、イベント事業、セミナー等開催事業、個店の魅力アップさせる事業で他の店舗のモデルとなる事業などに対し支援を行っています。平成29年度は、空き店舗改装支援の件数は0件でしたが、イベントの開催に対し、6件4,237千円の補助を実施しています。	経済政策課
8-4	働く環境づくりの推進	ファミリーサポートセンター事業について、依頼会員と提供会員の人数を教えてください。	依頼会員 1,916人 提供会員 923人 両方会員 289人 (平成30年3月時点)	経済政策課
		「H30は、奨励金の支給要件を見直したことでより件数が伸び悩んでいる」とありますが、支給要件は適切だったのでしょうか。	「若年非正規労働者正規化促進奨励金」については、平成29年度に7月末でほぼ予算額に達する状況になってしまったため、平成30年度は上限額を引き下げました。これは、より多くの中小企業者に事業を活用していただくための措置であり、適切な見直しであると考えます。	経済政策課

No.	施策	委員からの質問	市の回答	回答部署
9-1	文化・芸術活動の振興	新ホール開館に向けてのタイムスケジュールについて、平成30年には基本構想・基本計画策定とされていますが、前提として従来方式又はPFI方式のどちらを採用するか決定されているのでしょうか。	<p>徳島駅西側駐車場での新ホール整備については、6月議会で、当候補地での平面検討図(案)のほか、概算事業費及び整備スケジュールを報告した。その中で概算事業費が高額(約141億円)であり、整備スケジュールも当初の想定を超える結果(平成35年度開館⇒平成40年度)となったことから、専門家の意見を聞くなどしながら関係者と協議し、さらなる概算事業費の抑制や整備スケジュールの短縮等に向けた検討を進めるとともに、使いやすいホールであるかどうかについても、文化団体等へのヒアリングを行いながらあわせて検討し、当候補地での整備について総合的に判断することとした。</p> <p>事業方式については、それぞれメリット・デメリットがあることから、今後、計画がより具体化する中でさらに検討していきたいと考えており、現時点では決定していない。</p>	文化振興課
9-2	スポーツ・レクリエーション活動の振興	成果指標の市主催のスポーツイベントへの参加者が半数程度になっていますが、その理由はどこにありますでしょうか。	平成28年度にとくしまマラソンが2回開催されたため。(当初値には、平成27年度と平成28年度の合計を記載しています。)	スポーツ振興課

No.	施策	委員からの質問	市の回答	回答部署														
9-3	生涯学習の推進	<p>市民講座について、受講者が15人を超えると収入が講師謝礼を上回るとされています。受講者が増えるような仕組みとして具体的に実施していることはありますか。また15人を下回る講座については、利用者ニーズがあまりないため、開催を見直す必要はありませんでしょうか。特に高齢者を対象とした講座の方が需要があるのではないのでしょうか。</p>	<p>平成30年3月に49講座で「一日無料体験講座」を実施したところ、270人の参加があり、そのうち54人が平成30年度から講座を受講することになった。</p> <p>また、受講者数が少なくなった原因は、平成25年度から平成26年度までの耐震工事による講座のブランクによるものが大きいと考えられるため、継続的・長期的な講座のPR活動を推進する必要がある。さらに、市民の生涯学習を推進するため、収益性だけでなく公共性の観点からも様々なジャンルの講座を実施する必要がある。</p> <p>特に60歳代の受講者が多いため、体操や歌など、健康に重点を置いた講座などの拡充について検討していきたい。</p>	中央公民館														
		<p>徳島城博物館における展覧会ごと（あるいは月ごと）の概ねの来館者数を教えていただきたい。</p>	<p>平成29年度については7回の特別展・企画展を開催した。</p> <table border="0"> <tr> <td>開館25周年記念企画展「大蜂須賀展」</td> <td>7,078人</td> </tr> <tr> <td>夏の企画展「殿様ライフ」</td> <td>7,357人</td> </tr> <tr> <td>秋の企画展「近世淡路の書画」</td> <td>4,581人</td> </tr> <tr> <td>秋の特別展「幽霊一美と醜の物語一」</td> <td>4,359人</td> </tr> <tr> <td>冬の企画展「遠い日の風景」</td> <td>4,674人</td> </tr> <tr> <td>開館25周年記念特別展「鐵華繚乱」</td> <td>17,235人</td> </tr> <tr> <td>春の企画展「ひな人形の世界」</td> <td>7,276人</td> </tr> </table>	開館25周年記念企画展「大蜂須賀展」	7,078人	夏の企画展「殿様ライフ」	7,357人	秋の企画展「近世淡路の書画」	4,581人	秋の特別展「幽霊一美と醜の物語一」	4,359人	冬の企画展「遠い日の風景」	4,674人	開館25周年記念特別展「鐵華繚乱」	17,235人	春の企画展「ひな人形の世界」	7,276人	徳島城博物館
開館25周年記念企画展「大蜂須賀展」	7,078人																	
夏の企画展「殿様ライフ」	7,357人																	
秋の企画展「近世淡路の書画」	4,581人																	
秋の特別展「幽霊一美と醜の物語一」	4,359人																	
冬の企画展「遠い日の風景」	4,674人																	
開館25周年記念特別展「鐵華繚乱」	17,235人																	
春の企画展「ひな人形の世界」	7,276人																	
9-4	地域自治・協働の推進	<p>「地域づくり活動団体等支援・育成事業」の相談窓口に寄せられる相談案件は具体的にどのような案件がございますでしょうか。相談の結果、どの程度団体の支援や育成に役立っているのでしょうか。</p>	<p>NPO法人をはじめ、企業・学校・行政など、多様な団体から相談があり、内容はその団体が持っている案件に対する必要な人材の紹介依頼等が多い。若者に関する情報提供など指定管理者独自の強みを活かし、様々な相談対応を行っている。</p> <p>例：企業とNPO法人のマッチング</p> <p>清掃活動を行いたい企業からの相談を受け、お掃除活動を行っている大学生主体のNPO団体を紹介した。両者が連携して清掃活動を行ったことにより、NPO団体の活動活性化と、企業の社会貢献活動の促進につながった。企業とNPO団体はその後も活動を継続している。</p>	市民協働課														